

令和 6 年 5 月 12 日現在

機関番号：17102

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2018～2023

課題番号：18K01144

研究課題名（和文）歴史的・社会的背景からみた中国沿海部の産業発展の地域差と展開可能性に関する研究

研究課題名（英文）A Study on Regional Differences and the Influence of Historical and Social Factors in the Potential for Industrial Development in Coastal China

研究代表者

阿部 康久（Abe, Yasuhisa）

九州大学・比較社会文化研究院・准教授

研究者番号：10362302

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）： 経済発展が著しいとされてきた中国沿海部の中でも、産業発展のあり方に地域差が存在している点に着目し、その背景や今後の展開可能性を歴史的・社会的背景に着目しながら検討していくことを目的とした。研究結果として、1988年から2020年までの期間において、一般的に経済発展が顕著とされている沿海部地域間においても産業発展の程度に地域差が生じつつあったことが示唆された。このような経済発展の地域差が生じた要因として、単に地方政府や企業経営者の方針だけでなく、その背景にある意識や慣行に加えて、労働者、取引先企業、地域住民といった様々なステーク・ホルダーとの関係性の中で生じている点が示唆された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、改革開放期以降、著しい産業発展を遂げてきた中国沿海部地域の中でも、産業発展の程度に地域差が存在し、一部の地域においては2020年以前の時点でも、経済の停滞がみられていた点やその背景を検討したことで、学術的に（また一般レベルにおいても）、地域の実像を理解・把握するために意義のある研究であると考えられる。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this study was, by focusing on historical and social factors, to examine the background to regional differences in an industrial development in China's coastal regions which have been considered to have achieved a remarkable economic achievement. The research results suggest that during the period from 1988 to 2020, diverging degrees of industrial development began to emerge in the coastal regions, most of which are now considered economically prominent. The study suggested that such regional differences were caused not only by the policies of local governments and business managers, but also by underlying attitudes and practices, as well as the relationships among various stakeholders, such as workers, business partners, and local residents.

研究分野：人文地理学

キーワード：中国沿海部地域 産業発展 地域差 渤海経済圏 長江デルタ地域 珠江デルタ地域 社会的背景

歴史的・社会的背景からみた中国沿海部の産業発展の地域差と展開可能性に関する研究

1. 研究開始当初の背景

中国の産業発展モデルについての先行研究により、中国沿海部においては、1992年の南巡講話以降の早い時期から、比較的規模が小さい民間企業の集積が形成される形で産業発展がみられた華東地域浙江省南部の温州地域、集団所有制企業（地方政府や地域住民が設立した企業）という名目で設立された企業が中心となって産業発展がみられた華東地域江蘇省南部地域（蘇南地域）、改革開放直後に経済特区が設立され、外資導入を契機として産業発展がみられた広東省の珠江デルタ地域などの事例が存在していることが知られていた。経済地理学の分野では、このような経済活動の地域的差異を検討する際に、「埋め込み」という概念が注目されている。「埋め込み」とは、経済活動が、社会的、文化的、政治的システムと分かちがたく結びついていることを示す概念である。経済地理学者は、空間的・歴史的に位置する非経済的要因が、企業や産業、地域の発展にいかにか影響しているのかを研究する際に、この概念を積極的に用いてきた（青山ほか、2014）。

2. 研究の目的

このように経済発展が著しいとされてきた中国沿海部の中でも、産業発展のあり方に地域差が存在している点に着目し、その背景や今後の展開可能性を歴史的・社会的背景に着目しながら検討していくことを目的とした。

3. 研究の方法

研究方法としては、中国政府が公表している全国レベルの統計データに基づいた産業発展状況の地域差についての分析・考察に加えて、各地域において、このような地域差を説明するのに適切な地域・企業を選定し、企業関係者や当該地域にて小規模な事業を興した起業者らへのインタビュー調査を行うことを計画した。

4. 研究成果

最初に中国政府が公表している沿海部主要都市間での域内総生産額（GRP）成長率の差異について検討した（表1）。

沿海部主要都市の間でも経済成長率には差異がある。ただし、沿海部全体として経済成長が顕著に進んでいったため、その差異はみえにくかった。例えば、1988年時点での三大都市（省級市に指定されていた都市）は、北京・上海・天津の3都市であったが、天津の域内総生産額は1989年に広州に、2000年には深圳に抜かれる。それ以降、中国では国内最大級の都市群を表す呼称として「四大都市」という用語が定着していく。2017年に中国政府は「天津市の経済停滞」を認める声明を発表している。さらに、2019年には天津市のGRPが全国に比べても大きく減少したとする統計が公表され、2000年には、同市のGRPは沿海部主要都市の中での順位が8位にまで低下している。他にも経済成長率が比較的低い主要都市がみられた。東北地方遼寧省の大連・瀋陽両市や河北省の唐山市など、北部の渤海経済圏に属する主要都市において、経済成長率が低い主要都市の存在が目立っている。華南地域の珠江デルタ地域では、中心都市である深圳・広州の両市以外にも高成長を記録した都市がある一方で、渤海経済圏においては、中心都市である北京の周辺に成長率が高い都市がないことも特徴的である。

その一方で、華東・華南地域の都市もすべてが発展していたわけではなく、例えば1970年代末に深圳市とともに四大経済特区に指定されていた、厦門、汕頭、珠海の各都市は、いずれも他都市に比べて顕著な経済発展を遂げることなく現在に至っている。

このような沿海部地域における都市間での経済成長率の地域差について、その背景を検討するには、地域の中に「埋め込まれて」いる社会的・文化的背景についても検討しておく必要がある。具体的には、特に北部の渤海地域には、経済発展よりも社会秩序を重視する思考様式や慣行が存在していることが予想できる。

このような地域に存在する思考様式や慣行について検討するためには、各地域における具体的なフィールド調査に基づいたミクロレベルでの検討が必要となる。本研究期間内においては、新型コロナウイルスが感染拡大したことに加えて、中国をとりまく国際関係の変化により、研究が停滞し、終了年を当初より3年間延長することにな

った。

このように時間はかかったものの、研究業績として上げた論文では、渤海経済圏の山東省を事例とした企業調査や遼寧省における失業者の再就職や起業に関する調査、珠江デルタ地域に進出した日系自動車メーカーの店舗展開や同地域にて就職した他地域出身の大卒者の意識に関する調査などを実施し、企業関係者や労働者・起業者らの慣行や意識についてフィールド調査を実施していった。特に珠江デルタ地域にて就職した武漢市の大卒者に関する調査結果では、武漢市が北京、上海、珠江デルタ地域とほぼ等距離にある都市であるにもかかわらず、省外の就職先地域として、珠江デルタ地域が多数を占めている理由を考察しており、他地域出身の大卒者に対して開放的な同地域の特色を論じている。

表 1 南巡講話前の 1988 年から 2020 年までの沿海部主要都市の域内総生産額 (GRP)

の推移

	1988	1989	1990	2000	2010	2017	2018	2019	2020	
華北・東北地域	北京	4,102	4,560	5,008	24,788	141,136	280,149	303,200	353,710	361,030
	天津	2,596	2,833	3,003	16,394	92,245	185,492	188,096	141,040	140,840
	石家荘	645	691	735	10,031	34,010	61,770	60,826	58,100	59,350
	唐山	1,020	1,145	1,218	9,150	44,692	65,301	69,550	68,900	72,110
	瀋陽	1,642	1,907	2,020	11,191	50,175	57,847	62,924	64,700	65,720
	大連	1,513	1,654	1,786	11,108	51,582	69,899	76,685	70,020	70,300
	済南	983	1,070	917	9,522	39,105	71,516	78,566	94,434	101,409
	青島	1,426	1,555	1,682	11,501	56,662	110,241	120,015	117,410	124,010
	烟台	1,095	1,170	1,376	8,796	43,585	73,435	78,326	76,530	78,160
	華東地域	上海	6,483	6,965	7,447	45,512	171,660	306,330	326,799	381,560
南京		1,303	1,405	1,609	10,213	51,307	117,151	128,204	140,310	148,180
無錫		1,337	1,450	1,604	12,002	57,933	105,118	114,386	118,520	123,700
徐州		846	952	1,070	6,445	29,421	66,059	67,552	71,510	73,200
蘇州		1,651	1,763	2,021	15,407	92,289	173,195	185,975	192,360	201,700
揚州		1,357	1,454	1,582	4,721	22,295	50,649	54,662	58,500	60,480
杭州		1,525	1,663	1,780	13,826	59,492	126,034	135,092	153,730	161,060
温州		692	728	779	8,281	29,250	54,116	60,062	66,060	68,710
寧波		1,180	1,365	1,414	11,758	51,630	98,421	107,455	119,850	124,090
華南地域		福州	759	939	1,024	10,033	31,234	78,568	93,920	100,200
	泉州	471	535	619	10,451	35,650	84,680	99,470	101,590	
	厦門	355	440	506	5,019	20,601	47,914	59,950	63,840	
	広州	2,402	2,879	3,196	23,759	107,483	215,032	228,593	236,290	250,190
	深圳	738	978	1,359	16,652	95,815	224,901	242,220	269,270	276,700
	珠海	251	323	412	3,303	12,086	26,752	29,147	34,360	34,820
	汕頭	1,056	1,016	1,114	4,770	12,090	23,510	25,121	26,940	27,310
	佛山	1,007	1,107	1,255	9,572	56,515	93,985	99,359	107,510	108,160
	東莞	470	506	646	4,897	42,465	75,821	82,786	94,820	96,500

単位 1,000 億人民元

資料：National data 国家数据局 (<https://data.stats.gov.cn/>)

また、未発表の研究内容ではあるが、山東省青島市に進出した日系製造業企業 A 社と地方政府との関係性と同社の中国での発展及び存続の要因について、現地に進出した日系企業や企業と取引がある国有銀行へのインタビュー調査を行うことで考察を進めた。

2022 年に行った調査の結果として、中国進出日系企業が、中国でのコスト上昇、中国市場や国際情勢の変化にもかかわらず、現地で存続している要因としては、生産コストや需要の変化に対応し得ている点に加えて、地域の中に埋め込まれた歴史あるいは政治的・社会的側面についても考慮する必要がある。具体的には、進出時から培われてきた進出企業と現地の地方政府との信頼関係や、現地で育ててきた人材の存在が指摘できる。また、取引先である他の日系企業との関係性も進出企業が現地にて存続している理由のひとつになっているといえる。これらの政府や取引先企業との信頼関係や人材は、他の地域に移動させるのが難しい資源であるため、進出企業が現地において存続することを決定する際に、重要な要因になっていると考えられる。

これらの要因に加えて、A 社が中国で存続しているのみならず、現地において地方政府や従業員・地域住民などから高い評価を得ている要因として、現地での埋め込まれた関係性が重要な役割を果たしている。

進出当時、同社は現地政府から従業員の半分以上のリストラを認めてもらったり、当時は主要産業分野への海外企業の投資は49%までしか認められなかったにもかかわらず、51%の出資を認めてもらい、さらにその後は持株比率を95%にまで増加させ、ほぼ独資での経営を認めてもらったりするなど、異例の対応を受けることができた。また、工場前の道路を同社の社名を関した名前に変更してもらうなど、地方政府から優遇されていた。

このような地方政府から受けた優遇措置に対して、A社は積極的な納税、同業他社への安全技術などの技術移転への取り組み、従業員への長期的雇用契約の締結や、充実した福利厚生を提供、人材育成などを通じて社会貢献を行うことや、取引先企業の育成などに貢献している。同社は、中国市場において単に利益を追求するだけではなく、現地政府や地域社会、関係企業などのステーク・ホルダーとの間で良好な関係を形成しており、特に現地の地方政府との間では、頻繁に表彰等を受けるなどの強い信頼関係を築くことに成功している（表2）。

表2 中国進出日系企業A社が地方政府等から受けた主な表彰の一覧

年	名称	授与者
2005	優秀納税企業	青島市四方区人民政府 (地方政府)
2008	外商投資企業ベスト10	中央青島市四方区委 (中国共産党地方委員会) 青島市四方区人民政府 (地方政府)
2010	社会貢献活動が目立つ外資企業	中国外商投資企業協会 (中国商務省主管)
2010	優秀外資企業	中国外商投資企業協会 (中国商務省主管)
2017	職業教育訓練特任顧問	中国鑄造協会

資料：A社ホームページ及びA社現地法人にて提供して頂いた資料により作成

青島市におけるA社の事例は、企業と地方政府・地域社会などとの関係性が、地域の産業発展にポジティブな影響を与えた事例であるといえるが、もちろん、このような関係性の存在が産業発展の足かせになる事例も存在している。

本研究課題で行った調査では暫定的な結論しか出すことはできなかったが、経済発展の地域差は、単に地方政府や企業経営者の方針だけでなく、その背景にある意識や慣行に加えて、労働者、取引先企業、地域住民といった様々なステーク・ホルダーとの関係性の中で生じている点が示唆された。このような社会的・文化的側面についての考察は、未発表の研究内容を公表していく中で、今後も継続的に検討していきたいと考えている。

文献

1. 青山裕子/ジェームズ・T・マーフィー/スーザン・ハンソン著, 小田宏信ほか訳 (2014): 『経済地理学キーコンセプト』, 古今書院.

2. Yasuhisa Abe, How Customer Service Centers in Foreign Cities Serving Japan Changed Their Business?: A Case Study of the City of Dalian, China, Atsushi Taira and Rolf D. Schlunze eds.,

Management Geography: Asian Perspectives Focusing on Japan and Surrounding Regions (International Perspectives in Geography, 19), Springer, 157-179, 2022.09.

3 . Yasuhisa Abe, Changes in the locational conditions of the Japanese machinery and instrument industry in China: A case study of Dalian Economic and Technological Development Zone, Atsushi Taira and Rolf D. Schlunze eds., Management Geography: Asian Perspectives Focusing on Japan and Surrounding Regions (International Perspectives in Geography, 19), Springer, 43-67, 2022.09.

4 . 阿部康久・江薇, 中国における大卒者の省間就職移動の動機と背景 —湖北省武漢市から珠江デルタ地域への移動者を事例として—, 日本都市地理学会編『都市地理学』, 16, 58-69, 2021.06.

5 . Yasuhisa ABE, Xujia Lin and Masatoki Takase, Distribution of the dealer and repair parts management system of a Japanese multinational car manufacturer in China : Focusing on the case of GAC Toyota Motors, Journal of the Economic Geographical Society in Korea, 22, 2, 160-177, 2019.06.

6 . Ning GAO and Yasuhisa ABE, Mechanism for regional expansion and chain management of the Chinese shoe chain: A case study on the Yearcon Company in Shandong province, 日本都市地理学会編『都市地理学』, 14, 138-153, 2019.06.

7 . 阿部 康久・閻 陽, 国有企業退職者の再就職状況と起業の地域的背景 - 遼寧省撫順市を事例として -, 東アジア学会編『東アジア研究』, 24号, 1-17, 2019.01.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計17件（うち査読付論文 16件 / うち国際共著 5件 / うちオープンアクセス 16件）

1. 著者名 Yasuhisa Abe	4. 巻 19
2. 論文標題 Changes in the locational conditions of the Japanese machinery and instrument industry in China: A case study of Dalian Economic and Technological Development Zone,	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Atsushi Taira and Rolf D. Schlunze eds., Management Geography: Asian Perspectives Focusing on Japan and Surrounding Regions (International Perspectives in Geography, 19), Springer	6. 最初と最後の頁 43-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yasuhisa Abe	4. 巻 19
2. 論文標題 How Customer Service Centers in Foreign Cities Serving Japan Changed Their Business?: A Case Study of the City of Dalian, China	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Atsushi Taira and Rolf D. Schlunze eds., Management Geography: Asian Perspectives Focusing on Japan and Surrounding Regions (International Perspectives in Geography, 19), Springer	6. 最初と最後の頁 157-179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yasuhisa ABE, Le XU	4. 巻 18
2. 論文標題 Evaluation of tourists and resident appreciation of the city name and historical tourism resources in Huangshan City, China	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本都市地理学会編『都市地理学』	6. 最初と最後の頁 145-161
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 湯天悦・阿部康久	4. 巻 77
2. 論文標題 中国上海市における漢服の復興・活動状況と活動空間	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地理科学	6. 最初と最後の頁 23-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 張耀丹・阿部康久	4. 巻 15
2. 論文標題 在外中国人による日本での投資用住宅購入と選好パターン 京阪神大都市圏と東京大都市圏における購入者へのインタビュー調査に基づいて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 都市地理学	6. 最初と最後の頁 152-162
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 阿部康久・徐楽	4. 巻 67
2. 論文標題 中国黄山市における歴史観光資源と市名をめぐる観光客の評価と住民の意識	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 経済地理学年報	6. 最初と最後の頁 24-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 阿部康久・江薇	4. 巻 16
2. 論文標題 中国における大卒者の省間就職移動の動機と背景 - 湖北省武漢市から珠江デルタ地域への移動者を事例として -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 都市地理学	6. 最初と最後の頁 58-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yaodan ZHANG and Yasuhisa ABE	4. 巻 16
2. 論文標題 Exploring the Residence Purchasing Motives, Preferences, and Patterns of Chinese White-Collar Residents in Greater Tokyo and other Metropolitan Areas in Japan: Using an Interview Survey	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 都市地理学	6. 最初と最後の頁 83-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasuhisa ABE, Xujia Lin and Masatoki Takase	4. 巻 22-2
2. 論文標題 Distribution of the dealer and repair parts management system of a Japanese multinational car manufacturer in China: Focusing on the case of GAC Toyota Motors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the Economic Geographical Society in Korea	6. 最初と最後の頁 160-177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ning GAO and Yasuhisa ABE	4. 巻 14
2. 論文標題 Mechanism for regional expansion and chain management of the Chinese shoe chain: A case study on the Yearcon Company in Shandong province	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Urban Geography of Japan (都市地理学)	6. 最初と最後の頁 138-153
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 阿部 康久・張寧	4. 巻 26
2. 論文標題 中国の中規模都市における住民の住宅購入動機と利用状況 - 遼寧省朝陽市中心部を事例として -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『東アジア研究』(東アジア学会編)	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 阿部 康久	4. 巻 64-4
2. 論文標題 人口移動の動向からみた中国社会的変化	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『地理』(古今書院)	6. 最初と最後の頁 42-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 阿部 康久・閻 陽	4. 巻 24
2. 論文標題 国有企業退職者の再就職状況と起業の地域的背景 - 遼寧省撫順市を事例として -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東アジア学会編『東アジア研究』	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 阿部康久・林 旭佳・高瀬正暁	4. 巻 65巻1号
2. 論文標題 中国の日系自動車メーカーにおけるディーラーの分布と修理・メンテナンス用部品の管理体制 广汽トヨタ社の事例を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 経済地理学年報	6. 最初と最後の頁 117-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 周 リョウ瀚・阿部康久	4. 巻 30
2. 論文標題 改革開放初期の中国における観光業振興と地域的背景 : 広西チワン族自治区桂林市の事例を中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『地球社会統合科学』(九州大学大学院地球社会統合科学府)	6. 最初と最後の頁 15-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 湯天悦・阿部康久	4. 巻 18
2. 論文標題 中国における和服の受容状況と着用者の活動空間 上海和服同好会の活動を中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 都市地理学	6. 最初と最後の頁 133-141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 阿部康久・李春嬌	4. 巻 70
2. 論文標題 「新しい都市化計画」施行後の中国の農村出身移住者の就業地域と定住希望地 河南省三門峡市A村出身者を事例として	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 経済地理学年報	6. 最初と最後の頁 未定
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計15件(うち招待講演 2件/うち国際学会 5件)

1. 発表者名 周リョウ瀚, 阿部康久,
2. 発表標題 改革開放初期の中国における観光業振興と中央・地方政府間の関係-広西チワン族自治区桂林市を事例として-
3. 学会等名 日本地理学会2023年春季学術大会中国地理研究グループ研究集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 阿部康久・高寧・高瀬雅暁
2. 発表標題 中国における大規模自動車ディーラーの形成と店舗分布に関する研究
3. 学会等名 経済地理学会・地理科学学会合同大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 阿部康久・朱シュ堯
2. 発表標題 中国・南京大都市圏の拡大にともなう都市間通勤行動の出現 - 馬鞍山市からの通勤者に対するインタビュー調査から -
3. 学会等名 経済地理学会西南支部例会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 阿部康久・徐樂
2. 発表標題 中国黄山市における人文観光資源の開発と地名をめぐる住民の意識に関する研究
3. 学会等名 経済地理学会2019年度大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 阿部康久・王酩
2. 発表標題 福岡県における在日中国人による起業の増加とその背景 外国人統計の分析と起業家へのインタビュー調査に基づいて
3. 学会等名 浙江工業大学住宅と不動産研究院・九州大学記録資料館学術交流会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasuhisa Abe and Le Xu
2. 発表標題 The Development of Cultural Tourism Resources in Huangshan City, China and the Residents' Consciousness of Tourism and the City Name
3. 学会等名 The 14th Japan -Korea-China Joint Conference on Geography（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 湯天悦・阿部康久
2. 発表標題 中国上海市における伝統的衣装「漢服」の復興・普及と活動空間
3. 学会等名 福岡地理学会2019年度冬季例会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 阿部康久・高寧
2. 発表標題 新興国におけるフランチャイズ・チェーンの店舗網の地域的拡大とその特徴 - 中国の靴チェーン大手5社を事例として -
3. 学会等名 日本地理学会2020年春季学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yasuhisa Abe
2. 発表標題 Distribution of the dealer and repair parts management system of a Japanese multinational car manufacturer in China : Focusing on the case of GAC Toyota Motors,
3. 学会等名 日韓經濟地理学会議（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hejing Duanmu and Yasuhisa Abe
2. 発表標題 The Large-scale Development of Mature Enterprises Featuring Mashallian Industrial Agglomeration: A case study of large clothing enterprises in Wenzhou City, China
3. 学会等名 The 13th Japan -Korea-China Joint Conference on Geography (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 阿部康久
2. 発表標題 大卒者の省間就職移動の動機と背景に関する研究（中国語）
3. 学会等名 中国地理学大会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 阿部康久・桑ブン月
2. 発表標題 ポストコロナ期の中国における大卒者の就職先・希望地の变化と日系企業の対応
3. 学会等名 日本地理学会2024年春季学術大会国際経済・経営地理学研究グループ
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 阿部康久
2. 発表標題 社会主義市場経済下での中国の地域構造についての考察
3. 学会等名 日本地理学会2024年春季学術大会一般発表
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 阿部康久
2. 発表標題 福岡県における留学経験者の就業と定着の状況 - 中国人留学経験者を事例にして -
3. 学会等名 福岡地理学会2023年度冬季例会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 阿部康久・李春嬌
2. 発表標題 中国の出稼ぎ労働者にみる近年の出稼ぎ先の変化と将来の定住希望地域 河南省三門峽市盧氏県の農村出身者を事例として
3. 学会等名 日本地理学会2023年秋季学術大会一般発表
4. 発表年 2024年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 岡本耕平監修 阿部康久・土屋純・山元貴継編	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 218
3. 書名 『論文から学ぶ地域調査』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

九州大学研究者情報 https://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/details/K002485/research.html
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	高 寧 (Gao Ning) (80947367)	九州大学・比較社会文化研究院・特別研究者 (17102)	資料・統計データの収集・分析

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------